

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	宮崎こども文化センター	評価対象年度	平成21年度
事業者名	・事業者名 財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敏子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	<p>1 宮崎こども文化センター ①年間延べ利用者数 32,075人 ②年間延べ利用団体数 906団体</p> <p>2 宮崎小学校わくわくプラザ ①登録者数 430人 ②年間延べ利用者数 16,191人</p> <p>3 宮崎台小学校わくわくプラザ ①登録者数 401人 ②年間延べ利用者数 14,257人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 55,565,118</p> <p>2 支出 人件費 40,786,463 管理費 6,146,831 事務経費 2,206,029 その他経費 1,107,175 減価償却引当資産取得支出 77,895 予備費支出(次期繰越収支差額) 9,630 合計 50,334,023 3 差引 5,231,095</p>
サービス向上の取組	環境整備の推進。行動目標(アクションプランシート)の作成。こども文化センター及びわくわくプラザ実践集の作成。

3. 評価 (評価段階:5~1、標準:3、加点割合:5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	5	10
	事業成果	こども文化センターの利用者数が増えているか。	5	3	3
	(評価の理由) 行動目標(アクションプランシート)を作成する等、施設目的に沿った事業実施ができるよう工夫していた。また、こども文化センター及びわくわくプラザ実践集を作成し、優れた事例を研究することで、行事等の充実を図っていた。特色ある行事としては、町内会、子ども会、幼児サークル及び野球連盟の協力のにより「さんままつり」を実施し、地域交流を図っていた。こども文化センターの利用者は管理委託時(H17年度)と比較し、ほぼ変わらなかった。				
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な支出がされているか	5	4	4
		支出に見合う効果が得られているか			
(評価の理由) 会計処理が適切になされるとともに、支出額と指定管理料を比較し、5%以上の黒字となり、経費縮減が図られた。					
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校、行政及び地域等との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	4	4
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) 近隣中学校へたより等を配布し積極的に広報を行っていた。団体組織内の市民活動推進課との連携により、ボランティアの紹介、ボランティアの活用研修の実施及び市民活動団体への広報など、地域人材を活用した運営の推進や施設の有効活用を図る体制を整えサービスを向上させた。利用者の意見・要望への対応を記録し、行事の実施等把握したニーズの事業運営への反映に努めていた。また、その記録を本部が確認することにより、図書及び遊具の充実等図っていた。					

組織管理体制	適正な人員配置	子ども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	4	4	
	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか				
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3	
(評価の理由) わくわくプラザ障害児利用者の対応をするスタッフのために巡回相談員を配置した。市主催の研修に多くの職員が参加するとともに、提案を上回る多くの研修を実施した。					
組織管理体制	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
		利用者の安全確保	5	4	4
	利用者等の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか			
	防犯対策	事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか	5	3	3
		施設の防犯のための工夫がされているか			
	災害時の対応	緊急時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか					
災害発生時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3		
(評価の理由) 市と調整し、提案を上回ってトイレ及び部屋の扉の修繕等、積極的に修繕を実施した。また、折りたたみいす及び座卓の入替等、環境整備に努めていた。新型インフルエンザの感染防止を図るため、子ども文化センター及びわくわくプラザに空気清浄機を設置し、利用者の安全確保に努めていた。					

4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点、標準点:60点

評価ランク:A~E、標準:C、A→90点以上、B→80点以上90点未満、C→60点以上80点未満、D→40点以上60点未満、E→40点未満
A→特に優れている、B→優れている、C→適正である、D→改善が必要である、E→問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

昨年度に引き続き指定管理以前から委託事業者として子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとの子ども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。
事業実施に当たっては独自の行動目標(アクションプランシート)を作成し、進捗状況を管理するシステムを構築するなど指定管理団体独自の工夫を行っていた。また55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、各施設を統括する本部職員の配置による効率的な管理体制を組んでいることや、安定した経営を行っていたことは評価できる。今年度は特に新型インフルエンザ対策として、施設へ空気清浄機を導入するなど安全対策に意識も高く、最大限の努力をしていた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと。

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	有馬こども文化センター	評価対象年度	平成21年度
事業者名	・事業者名 財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	<p>1 有馬こども文化センター ①年間延べ利用者数 20,353人 ②年間延べ利用団体数 434団体</p> <p>2 西有馬小学校わくわくプラザ ①登録者数 340人 ②年間延べ利用者数 11,507人</p> <p>3 鷺沼小学校わくわくプラザ ①登録者数 333人 ②年間延べ利用者数 12,742人</p> <p>4 有馬小学校わくわくプラザ ①登録者数 165人 ②年間延べ利用者数 8,615人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 54,124,587</p> <p>2 支出 人件費 48,716,220 管理費 5,527,057 事務経費 1,838,978 その他経費 1,107,175 減価償却引当資産取得支出 77,895 予備費支出(次期繰越収支差額) 9,630 ----- 合計 57,276,955 3 差引 -3,152,368</p>
サービス向上の取組	環境整備の推進。行動目標(アクションプランシート)の作成。こども文化センター及びわくわくプラザ実践集の作成。

3. 評価 (評価段階:5~1、標準:3、加点割合:5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	5	10
	事業成果	こども文化センターの利用者数が増えているか。	5	5	5
	(評価の理由) 行動目標(アクションプランシート)を作成する等、施設目的に沿った事業実施ができるよう工夫していた。また、こども文化センター及びわくわくプラザ実践集を作成し、優れた事例を研究することで、行事等の充実を図っていた。特色ある行事業としては、近隣高等学校の協力を得て、吹奏楽部の演奏会を実施していた。こども文化センターの利用者が管理委託時(H17年度)と比較し、30%以上増加した。				
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な支出がされているか	5	2	2
		支出に見合う効果が得られているか			
(評価の理由) 会計処理が適切になされるとともに、支出額と指定管理料を比較し、5%以上の赤字となった。					
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校、行政及び地域等との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	4	4
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) 近隣中学校及び高等学校へたより等を配布し積極的に広報を行っていた。団体組織内の市民活動推進課との連携により、ボランティアの紹介、ボランティアの活用研修の実施及び市民活動団体への広報など、地域人材を活用した運営の推進や施設の有効活用を図る体制を整えサービスを向上させた。利用者の意見・要望への対応を記録し、行事の実施等把握したニーズの事業運営への反映に努めていた。また、その記録を本部が確認することにより、図書及び遊具の充実等図っていた。					

組織管理体制	適正な人員配置	子ども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	4	4
職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか					
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3	
(評価の理由) わくわくプラザ障害児利用者の対応をするスタッフのために巡回相談員を配置した。市主催の研修に多くの職員が参加するとともに、提案を上回る多くの研修を実施した。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	4	4
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害時の対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由) 市と調整し、トイレ及び部屋の扉の修繕等、計画的に修繕を実施した。また、折りたたみいす及び座卓の入替等、環境整備に努めていた。新型インフルエンザの感染防止を図るため、子ども文化センター及びわくわくプラザに空気清浄機を設置し、利用者の安全確保に努めていた。					

4. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点、標準点:60点

評価ランク:A~E、標準:C、A→90点以上、B→80点以上90点未満、C→60点以上80点未満、D→40点以上60点未満、E→40点未満
A→特に優れている、B→優れている、C→適正である、D→改善が必要である、E→問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

昨年度に引き続き指定管理以前から委託事業者として子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとの子ども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。
事業実施に当たっては独自の行動目標(アクションプランシート)を作成し、進捗状況を管理するシステムを構築するなど指定管理団体独自の工夫を行っていた。また55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、各施設を統括する本部職員の配置による効率的な管理体制を組んでいることや、安定した経営を行っていたことは評価できる。今年度は特に新型インフルエンザ対策として、施設へ空気清浄機を導入するなど安全対策に意識も高く、最大限の努力をしていた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと。

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	野川こども文化センター	評価対象年度	平成21年度
事業者名	・事業者名 財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	<p>1 野川こども文化センター ①年間延べ利用者数 46,575人 ②年間延べ利用団体数 492団体</p> <p>2 西野川小学校わくわくプラザ ①登録者数 194人 ②年間延べ利用者数 8,199人</p> <p>3 南野川小学校わくわくプラザ ①登録者数 208人 ②年間延べ利用者数 8,651人</p> <p>4 野川小学校わくわくプラザ ①登録者数 310人 ②年間延べ利用者数 12,803人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 59,106,821</p> <p>2 支出 人件費 52,666,300 管理費 5,914,615 事務経費 2,350,012 その他経費 1,107,175 減価償却引当資産取得支出 77,895 予備費支出(次期繰越収支差額) 9,630 ----- 合計 62,125,627 3 差引 -3,018,806</p>
サービス向上の取組	環境整備の推進。行動目標(アクションプランシート)の作成。こども文化センター及びわくわくプラザ実践集の作成。

3. 評価 (評価段階:5~1、標準:3、加点割合:5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
	事業成果	こども文化センターの利用者数が増えているか。	5	4	4
	(評価の理由)	行動目標(アクションプランシート)を作成する等、施設目的に沿った事業実施ができるよう工夫していた。また、こども文化センター及びわくわくプラザ実践集を作成し、優れた事例を研究することで、行事等の充実を図っていた。こども文化センターの利用者が管理委託時(H17年度)と比較し、10%以上増加した。			
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な支出がされているか	5	2	2
		支出に見合う効果が得られているか			
	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組が為されているか	(評価の理由) 会計処理が適切になされるとともに、支出額と指定管理料を比較し、5%以上の赤字となった。			
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校、行政及び地域等との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	4	8
利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	4	4	
	把握したニーズが事業運営へ反映されているか				
	(評価の理由)	近隣中学校へのたより等の配布や幼児コーナーの掲示板を作成し、積極的に広報を行っていた。団体組織内の市民活動推進課との連携により、ボランティアの紹介、ボランティアの活用研修の実施及び市民活動団体への広報など、地域人材を活用した運営の推進や施設の有効活用を図る体制を整えサービスを向上させた。利用者の意見・要望への対応を記録し、行事の実施等把握したニーズの事業運営への反映に努めていた。また、その記録を本部が確認することにより、図書及び遊具の充実等図っていた。			

組織管理体制	適正な人員配置	子ども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	4	4
職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか					
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3	
(評価の理由) わくわくプラザ障害児利用者の対応をするスタッフのために巡回相談員を配置した。市主催の研修に多くの職員が参加するとともに、提案を上回る多くの研修を実施した。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
		利用者の安全確保	5	4	4
	利用者	利用者の安全確保のため、工夫がされているか			
	防犯対策	事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
		施設	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3
	緊急時	緊急時のマニュアル等が整備されているか			
災害時の対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3	
	災害発生時				災害発生時のマニュアル等が整備されているか
(評価の理由) 市と調整し、提案を上回ってトイレ及び部屋の壁の修繕等、積極的に修繕を実施した。また、折りたたみいす及び座卓の代替等、環境整備に努めていた。新型インフルエンザの感染防止を図るため、子ども文化センター及びわくわくプラザに空気清浄機を設置し、利用者の安全確保に努めていた。					

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点、標準点:60点

評価ランク:A~E、標準:C、A→90点以上、B→80点以上90点未満、C→60点以上80点未満、D→40点以上60点未満、E→40点未満
A→特に優れている、B→優れている、C→適正である、D→改善が必要である、E→問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

昨年度に引き続き指定管理以前から委託事業者として子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとの子ども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。
事業実施に当たっては独自の行動目標(アクションプランシート)を作成し、進捗状況を管理するシステムを構築するなど指定管理団体独自の工夫を行っていた。また55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、各施設を統括する本部職員の配置による効率的な管理体制を組んでいることや、安定した経営を行っていたことは評価できる。今年度は特に新型インフルエンザ対策として、施設へ空気清浄機を導入するなど安全対策に意識も高く、最大限の努力をしていた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと。

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	宮前平こども文化センター	評価対象年度	平成21年度
事業者名	・事業者名 財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	<p>1 宮前平こども文化センター ①年間延べ利用者数 26,232人 ②年間延べ利用団体数 836団体</p> <p>2 富士見台小学校わくわくプラザ ①登録者数 369人 ②年間延べ利用者数 13,651人</p> <p>3 宮前平小学校わくわくプラザ ①登録者数 258人 ②年間延べ利用者数 11,841人</p> <p>4 土橋小学校わくわくプラザ ①登録者数 573人 ②年間延べ利用者数 19,244人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 68,779,900</p> <p>2 支出 人件費 57,342,812 管理費 5,433,962 事務経費 2,340,201 その他経費 1,107,175 減価償却引当資産取得支出 77,895 予備費支出(次期繰越収支差額) 9,630 ----- 合計 66,311,675 3 差引 2,468,225</p>
サービス向上の取組	環境整備の推進。行動目標(アクションプランシート)の作成。こども文化センター及びわくわくプラザ実践集の作成。

3. 評価 (評価段階:5~1、標準:3、加点割合:5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
	事業成果	こども文化センターの利用者数が増えているか。	5	5	5
	(評価の理由)	行動目標(アクションプランシート)を作成する等、施設目的に沿った事業実施ができるよう工夫していた。また、こども文化センター及びわくわくプラザ実践集を作成し、優れた事例を研究することで、行事等の充実を図っていた。こども文化センターの利用者が管理委託時(H17年度)と比較し、30%以上増加した。			
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な支出がされているか	5	3	3
		支出に見合う効果が得られているか			
	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組が為されているか	(評価の理由) 会計処理が適切になされるとともに、おおよそ計画どおりの支出であり、ほぼ指定管理料内での執行となった。			
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校、行政及び地域等との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	4	8
利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	4	4	
	把握したニーズが事業運営へ反映されているか				
	(評価の理由)	近隣中学校へたより等を配布し積極的に広報を行っていた。団体組織内の市民活動推進課との連携により、ボランティアの紹介、ボランティアの活用研修の実施及び市民活動団体への広報など、地域人材を活用した運営の推進や施設の有効活用を図る体制を整えサービスを向上させた。利用者の意見・要望への対応を記録し、行事の実施等把握したニーズの事業運営への反映に努めていた。また、その記録を本部が確認することにより、図書及び遊具の充実等図っていた。			

組織管理体制	適正な人員配置	子ども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	4	4
職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか					
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3	
(評価の理由) わくわくプラザ障害児利用者の対応をするスタッフのために巡回相談員を配置した。市主催の研修に多くの職員が参加するとともに、提案を上回る多くの研修を実施した。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保	5	4	4
	防犯対策	5			
	災害時の対応		施設の防犯のための工夫がされているか		
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3	
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由) 市と調整し、トイレ及び部屋の扉の修繕等、計画的に修繕を実施した。また、折りたたみいす及び座車の入替等、環境整備に努めていた。新型インフルエンザの感染防止を図るため、子ども文化センター及びわくわくプラザに空気清浄機を設置し、利用者の安全確保に努めていた。					

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点、標準点:60点

評価ランク:A~E、標準:C、A→90点以上、B→80点以上90点未満、C→60点以上80点未満、D→40点以上60点未満、E→40点未満
A→特に優れている、B→優れている、C→適正である、D→改善が必要である、E→問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

昨年度に引き続き指定管理以前から委託事業者として子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとの子ども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。
事業実施に当たっては独自の行動目標(アクションプランシート)を作成し、進捗状況を管理するシステムを構築するなど指定管理団体独自の工夫を行っていた。また55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、各施設を統括する本部職員の配置による効率的な管理体制を組んでいることや、安定した経営を行っていたことは評価できる。今年度は特に新型インフルエンザ対策として、施設へ空気清浄機を導入するなど安全対策に意識も高く、最大限の努力をしていた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと。

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	平こども文化センター	評価対象年度	平成21年度
事業者名	・事業者名 財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	1 平こども文化センター ①年間延べ利用者数 27,800人 ②年間延べ利用団体数 373団体 2 向丘小学校わくわくプラザ ①登録者数 280人 ②年間延べ利用者数 18,847人 3 長尾小学校わくわくプラザ ①登録者数 145人 ②年間延べ利用者数 6,797人
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 50,083,394 2 支出 人件費 41,348,918 管理費 3,535,536 事務経費 2,095,583 その他経費 1,107,175 減価償却引当資産取得支出 77,895 予備費支出(次期繰越収支差額) 9,630 合計 48,174,737 3 差引 1,908,657
サービス向上の取組	環境整備の推進。行動目標(アクションプランシート)の作成。こども文化センター及びわくわくプラザ実践集の作成。

3. 評価 (評価段階:5~1、標準:3、加点割合:5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
	事業成果	こども文化センターの利用者数が増えているか。	5	5	5
	(評価の理由) 行動目標(アクションプランシート)を作成する等、施設目的に沿った事業実施ができるよう工夫していた。また、こども文化センター及びわくわくプラザ実践集を作成し、優れた事例を研究することで、行事等の充実を図っていた。こども文化センターの利用者が管理委託時(H17年度)と比較し、30%以上増加した。				
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な支出がされているか	5	3	3
		支出に見合う効果が得られているか			
(評価の理由) 会計処理が適切になされるとともに、おおよそ計画どおりの支出であり、ほぼ指定管理料内での執行となった。					
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校、行政及び地域等との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	4	8
利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	4	4	
	把握したニーズが事業運営へ反映されているか				
(評価の理由) 近隣中学校へたより等を配布し積極的に広報を行っていた。団体組織内の市民活動推進課との連携により、ボランティアの紹介、ボランティアの活用研修の実施及び市民活動団体への広報など、地域人材を活用した運営の推進や施設の有効活用を図る体制を整えサービスを向上させた。利用者の意見・要望への対応を記録し、行事の実施等把握したニーズの事業運営への反映に努めていた。また、その記録を本部が確認することにより、図書及び遊具の充実等図っていた。					

組織管理体制	適正な人員配置	子ども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	4	4
職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか					
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3	
(評価の理由) わくわくプラザ障害児利用者の対応をするスタッフのために巡回相談員を配置した。市主催の研修に多くの職員が参加するとともに、提案を上回る多くの研修を実施した。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保	5	4	4
	防犯対策	5			
	災害時の対応		施設の防犯のための工夫がされているか		
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3	
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由) 市と調整し、トイレ及び部屋の壁の修繕等、計画的に修繕を実施した。また、折りたたみいす及び座車の入替等、環境整備に努めていた。新型インフルエンザの感染防止を図るため、子ども文化センター及びわくわくプラザに空気清浄機を設置し利用者の安全確保に努めていた。					

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点、標準点:60点

評価ランク:A~E、標準:C、A→90点以上、B→80点以上90点未満、C→60点以上80点未満、D→40点以上60点未満、E→40点未満
A→特に優れている、B→優れている、C→適正である、D→改善が必要である、E→問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

昨年度に引き続き指定管理以前から委託事業者として子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとの子ども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。
事業実施に当たっては独自の行動目標(アクションプランシート)を作成し、進捗状況を管理するシステムを構築するなど指定管理団体独自の工夫を行っていた。また55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、各施設を統括する本部職員の配置による効率的な管理体制を組んでいることや、安定した経営を行っていたことは評価できる。今年度は特に新型インフルエンザ対策として、施設へ空気清浄機を導入するなど安全対策に意識も高く、最大限の努力をしていた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと。

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	白幡台こども文化センター	評価対象年度	平成21年度
事業者名	・事業者名 財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	1 白幡台こども文化センター ①年間延べ利用者数 23,563人 ②年間延べ利用団体数 529団体 2 白幡台小学校わくわくプラザ ①登録者数 209人 ②年間延べ利用者数 11,895人 3 平小学校わくわくプラザ ①登録者数 254人 ②年間延べ利用者数 10,102人
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 46,908,794 2 支出 人件費 41,178,788 管理費 5,840,641 事務経費 1,954,595 その他経費 1,107,175 減価償却引当資産取得支出 77,895 予備費支出(次期繰越収支差額) 9,630 合計 50,168,724 3 差引 -3,259,930
サービス向上の取組	環境整備の推進。行動目標(アクションプランシート)の作成。こども文化センター及びわくわくプラザ実践集の作成。

3. 評価 (評価段階:5~1、標準:3、加点割合:5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
	事業成果	こども文化センターの利用者数が増えているか。	5	5	5
	(評価の理由)	行動目標(アクションプランシート)を作成する等、施設目的に沿った事業実施ができるよう工夫していた。また、こども文化センター及びわくわくプラザ実践集を作成し、優れた事例を研究することで、行事等の充実を図っていた。こども文化センターの利用者が管理委託時(H17年度)と比較し、30%以上増加した。			
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な支出がされているか	5	2	2
		支出に見合う効果が得られているか			
	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組が為されているか	(評価の理由) 会計処理が適切になされるとともに、支出額と指定管理料を比較し、5%以上の赤字となった。			
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校、行政及び地域等との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	4	8
利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	4	4	
	把握したニーズが事業運営へ反映されているか				
	(評価の理由)	近隣中学校へたより等を配布し積極的に広報を行っていた。団体組織内の市民活動推進課との連携により、ボランティアの紹介、ボランティアの活用研修の実施及び市民活動団体への広報など、地域人材を活用した運営の推進や施設の有効活用を図る体制を整えサービスを向上させた。利用者の意見・要望への対応を記録し、行事の実施等把握したニーズの事業運営への反映に努めていた。また、その記録を本部が確認することにより、図書及び遊具の充実等図っていた。			

組織管理体制	適正な人員配置	子ども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	4	4
職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか					
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3	
(評価の理由) わくわくプラザ障害児利用者の対応をするスタッフのために巡回相談員を配置した。市主催の研修に多くの職員が参加するとともに、提案を上回る多くの研修を実施した。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
		利用者の安全確保	5	4	4
	利用者	利用者の安全確保のため、工夫がされているか			
	防犯対策	事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
		施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
	災害時の対応	緊急時のマニュアル等が整備されているか			
避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか		5	3	3	
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由) 市と調整し、提案を上回って部屋の壁、扉及びトイレ修繕等、積極的に修繕を実施した。また、折りたたみいすの入替等、環境整備に努めていた。新型インフルエンザの感染防止を図るため、子ども文化センター及びわくわくプラザに空気清浄機を設置し、利用者の安全確保に努めていた。					

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点、標準点:60点

評価ランク:A~E、標準:C、A→90点以上、B→80点以上90点未満、C→60点以上80点未満、D→40点以上60点未満、E→40点未満
A→特に優れている、B→優れている、C→適正である、D→改善が必要である、E→問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

昨年度に引き続き指定管理以前から委託事業者として子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとの子ども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。
事業実施に当たっては独自の行動目標(アクションプランシート)を作成し、進捗状況を管理するシステムを構築するなど指定管理団体独自の工夫を行っていた。また55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、各施設を統括する本部職員の配置による効率的な管理体制を組んでいることや、安定した経営を行っていたことは評価できる。今年度は特に新型インフルエンザ対策として、施設へ空気清浄機を導入するなど安全対策に意識も高く、最大限の努力をしていた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと。

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	蔵敷こども文化センター	評価対象年度	平成21年度
事業者名	・事業者名 財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	<p>1 蔵敷こども文化センター ①年間延べ利用者数 16,174人 ②年間延べ利用団体数 283団体</p> <p>2 菅生小学校わくわくプラザ ①登録者数 265人 ②年間延べ利用者数 15,892人</p> <p>3 犬蔵小学校わくわくプラザ ①登録者数 332人 ②年間延べ利用者数 12,934人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 53,659,180</p> <p>2 支出 人件費 39,904,079 管理費 5,017,761 事務経費 2,192,652 その他経費 1,638,619 減価償却引当資産取得支出 77,895 予備費支出(次期繰越収支差額) 9,630 ----- 合計 ----- 48,840,636 3 差引 4,818,544</p>
サービス向上の取組	環境整備の推進。行動目標(アクションプランシート)の作成。こども文化センター及びわくわくプラザ実践集の作成。

3. 評価 (評価段階:5~1、標準:3、加点割合:5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
	事業成果	こども文化センターの利用者数が増えているか。	5	3	3
	(評価の理由) 行動目標(アクションプランシート)を作成する等、施設目的に沿った事業実施ができるよう工夫していた。また、こども文化センター及びわくわくプラザ実践集を作成し、優れた事例を研究することで、行事等の充実を図っていた。こども文化センターの利用者は管理委託時(H17年度)と比較し、ほぼ変わらなかった。				
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な支出がされているか	5	4	4
		支出に見合う効果が得られているか			
(評価の理由) 会計処理が適切になされるとともに、支出額と指定管理料を比較し、5%以上の黒字となり、経費削減が図られた。					
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校、行政及び地域等との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	4	8
利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	4	4	
	把握したニーズが事業運営へ反映されているか				
(評価の理由) 近隣中学校へたより等を配布し積極的に広報を行っていた。団体組織内の市民活動推進課との連携により、ボランティアの紹介、ボランティアの活用研修の実施及び市民活動団体への広報など、地域人材を活用した運営の推進や施設の有効活用を図る体制を整えサービスを向上させた。利用者の意見・要望への対応を記録し、行事の実施等把握したニーズの事業運営への反映に努めていた。また、その記録を本部が確認することにより、図書及び遊具の充実等図っていた。					

組織管理体制	適正な人員配置	子ども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	4	4
職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか					
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3	
(評価の理由) わくわくプラザ障害児利用者の対応をするスタッフのために巡回相談員を配置した。市主催の研修に多くの職員が参加するとともに、提案を上回る多くの研修を実施した。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保	5	4	4
	防犯対策	5			
	災害時の対応		施設の防犯のための工夫がされているか		
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3	
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由) 折りたたみいすの入替等、環境整備に努めていた。新型インフルエンザの感染防止を図るため、子ども文化センター及びわくわくプラザに空気清浄機を設置し利用者の安全確保に努めていた。					

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点、標準点:60点

評価ランク:A~E、標準:C、A→90点以上、B→80点以上90点未満、C→60点以上80点未満、D→40点以上60点未満、E→40点未満
A→特に優れている、B→優れている、C→適正である、D→改善が必要である、E→問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

昨年度に引き続き指定管理以前から委託事業者として子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとの子ども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。
事業実施に当たっては独自の行動目標(アクションプランシート)を作成し、進捗状況を管理するシステムを構築するなど指定管理団体独自の工夫を行っていた。また55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、各施設を統括する本部職員の配置による効率的な管理体制を組んでいることや、安定した経営を行っていたことは評価できる。今年度は特に新型インフルエンザ対策として、施設へ空気清浄機を導入するなど安全対策に意識も高く、最大限の努力をしていた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと。